

## 園地への果樹カメムシ類の飛来に注意 ～ 飛来数が多い場合は直ちに薬剤を散布してください～

### 1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

前年秋期に県内15地点の越冬トラップに捕獲されたクサギカメムシ成虫数は1地点当たり10.4頭（平年1地点当たり8.5頭）でやや多く、捕獲地点率は73.3%（平年81.6%）でやや低かった（図-1）。

本年5月1半旬から4半旬までの県内10地点の防除適期決定ほにおけるチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップへのチャバネアオカメムシとクサギカメムシの総誘殺数は調査地点によって異なったが、合計でやや多い～多かった（表-1、2）。

5月26日に仙台管区气象台が発表した1か月予報では、向こう1か月の気温は平年並または高いと予報されている。

以上のことから、今後、果樹カメムシ類（クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ）の活動が活発になり、園地への飛来数が増加すると予想される。

### 2. 防除対策

園地への果樹カメムシ類の飛来は地域による差が大きいため、飛来状況をよく観察する。特に山間部や山林に隣接する園地では注意が必要である。成虫（図-2、3）が次々に飛来し、被害が懸念される場合には、各樹種ごとに表-3～7の薬剤で直ちに防除を実施する。

### 3. 資料

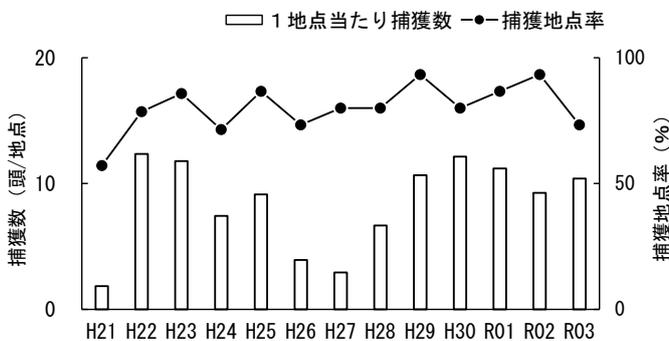


図-1 越冬トラップにおけるクサギカメムシ捕獲数の推移

表-1 りんご防除適期決定ほにおけるチャバネアオカメムシフェロモントラップの果樹カメムシ類総誘殺数（5月1～4半旬）

	鹿角市	大館市	由利本荘市	美郷町	横手市	湯沢市	合計
本年	2	11	8	9	68	18	116
平年	1.3	4.4	9.5	10.2	38.8	5.5	69.7
概評	並	多	並	並	やや多	多	やや多

表-2 日本なし防除適期決定ほにおけるチャバネアオカメムシフェロモントラップの果樹カメムシ類総誘殺数（5月1～4半旬）

	大館市	三種町	男鹿市	潟上市	合計
本年	99	0	23	0	122
平年	19.4	6.2	13.8	0.1	39.5
概評	多	やや少	やや多	並	多



図-2 クサギカメムシ成虫



図-3 チャバネアオカメムシ成虫

表-3 りんごのカメムシ類の防除薬剤

RAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
1 B	スミチオン水和剤40	800倍	収-30日	3回以内	ア
3 A	MR. ジョーカー水和剤	2,000倍	収-14日	2回以内	2回以内
3 A	ロディー水和剤	1,000倍	収-前日	2回以内	イ
4 A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収-7日	2回以内	2回以内
4 A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	ウ
4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	ウ
4 A	ダントツ水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	3回以内

RACコード 1 B：有機リン剤 3 A：合成ピレスロイド剤 4 A：ネオニコチノイド剤  
 ア：MEP（3回以内、摘葉剤ジョンカラップロも成分にMEPを含むので使用回数に注意する。）  
 イ：フェンプロパトリン（7回以内（噴射は5回以内、散布は2回以内））  
 ウ：ジノテフラン（3回以内）

※スミチオン水和剤40は、落花後1か月は使用しない（サビ果）。

表-4 なしのカメムシ類の防除薬剤

RAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
1 B	スミチオン水和剤40	800倍	有袋栽培 収-14日 無袋栽培 収-21日	6回以内	ア
4 A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	3回以内
4 A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	イ
4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	イ
4 A	ダントツ水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	3回以内
4 A	バリアード顆粒水和剤	2,000倍	収-前日	3回以内	3回以内
4 A	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000倍	収-3日	2回以内	2回以内
3 A	アグロスリン水和剤	1,000倍	収-前日	3回以内	3回以内
3 A	テルスター水和剤	1,000倍	収-前日	2回以内	2回以内
3 A・1 B	パーマチオン水和剤	1,000倍	収-30日	5回以内	ア、ウ
3 A	サイハロン水和剤	2,000倍	収-7日	3回以内	3回以内
3 A	マブリック水和剤20	2,000倍	収-30日	2回以内	2回以内
3 A	MR. ジョーカー水和剤	2,000倍	収-14日	2回以内	2回以内

RACコード 1 B：有機リン剤 3 A：合成ピレスロイド剤 4 A：ネオニコチノイド剤  
 ア：MEP（6回以内） イ：ジノテフラン（3回以内） ウ：フェンバレレート（5回以内）

※RACコード：3 Aの合成ピレスロイド剤は6月下旬以降に飛来が著しい場合に使用する。

表-5 もものカメムシ類の防除薬剤

RAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
1 B	スミチオン水和剤40	1,000倍	収-3日	6回以内	ア
3 A	テルスター水和剤	1,000倍	収-14日	2回以内	2回以内
3 A	アグロスリン水和剤	2,000倍	収-前日	5回以内	5回以内
4 A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	3回以内
4 A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	イ
4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	イ
4 A	ダントツ水溶剤	2,000倍	収-7日	3回以内	3回以内

RACコード 1 B : 有機リン剤 3 A : 合成ピレスロイド剤 4 A : ネオニコチノイド剤  
 ア : MEP (6回以内 (樹幹処理は1回以内)) イ : ジノテフラン (3回以内)

※スミチオン水和剤40は薬害 (葉の黒褐変、落葉) を発生させるおそれがあるので7月以降に使用する。

表-6 おうとうのカメムシ類の防除薬剤

RAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
4 A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	2回以内	ア
4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	2回以内	ア
4 A	ダントツ水溶剤	2,000倍	収-前日	2回以内	2回以内

RACコード 4 A : ネオニコチノイド剤  
 ア : ジノテフラン (2回以内)

表-7 うめのカメムシ類の防除薬剤

RAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
4 A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	ア
4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収-前日	3回以内	ア

RACコード 4 A : ネオニコチノイド剤  
 ア : ジノテフラン (3回以内)

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所	TEL	018-881-3660
秋田県果樹試験場	TEL	0182-25-4224
かづの果樹センター	TEL	0186-25-3231
天王分場班	TEL	018-878-2251
掲載HP <a href="https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/">https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/</a>		